

981116 (HOSYO1)

補 遺

補 遺

ここでは、スポーツ映像の文化解釈学で展開してきた知見が、スポーツ教育にいかに関与するかということ、およびメディア・スポーツ、特にテレビのスポーツ映像に対していかに解釈の可能性を有しているか、ということについて補足的考察を展開する。先ず、補章1においては、スポーツ映像を觀賞したことによって、鑑賞者達がいかに自分達のスポーツに対するイメージを変容したり強化したりするかということに関して、事例的調査研究によって確認する。ここでは『炎のランナー』を事例として取り上げ、スポーツ映像の持つ暗黙的な文化再生産機能としてのヘゲモニー装置性が確認され、スポーツ教育などの教材化に向けた前提的な考察が展開される。

続く補章2は、今回確認されたスポーツ映像の文化解釈学的方法論や解釈手法がテレビのスポーツ映像に展開できうる可能性を確認するために設けられた章である。ここでは、1988年のソウル・オリンピック大会の開会式、および閉会式を中心にしたテレビ放映を材料にして、事例的な解釈を展開する。この大会の映像が選択された理由は、開会式、閉会式の演出担当者の意図が文章テキストで公開されているため、誰もが映像と文章テキストにアクセスして追解釈が可能になるという理由からである。